

八幡平エンジョイ雪合戦大会参加チーム周知事項

事前配布の大会要項からの変更事項もあります。事前に必ずお読みください

チーム全員に徹底し、この書類を大会当日に必ずお持ちください。

1. 基本的事項

- ・本大会は岩手県雪合戦連盟採用規則に則り、本大会特別規則及び公式通知（以下、【特別規則】）で行います。
- ・コートラインはテープで標示しますが、これが移動した場合でも固定されたものとして判定します。
- ・タイムテーブル（大会進行表）に記載された時刻はすべて開始時刻です。その時刻には雪玉製造、試合開始、もしくは該当する事項を開始できるようチームで準備してください。
- ・本大会は帯同審判員制で行います。キッズの部はご父兄等で審判の協力をお願いいたします。審判員資格者もしくは経験者のいないチームは必ずあらかじめ事務局へお知らせください。大会当日は審判時に使用するホイッスルを忘れずにご持参ください。
- ・競技規則、特別規則に記載されていない事項であっても、主催者、共済者、主管者、大会実行のための各委員会、事務局の役職員（以下、主催者）の重要な指示に従わない場合は「失格」となります。
- ・主催者は参加者のこの大会に関するいかなる経費について、一切負担いたしません。
- ・主催者は参加者のこの大会における負傷等には一切責任を持ちません。
- ・スポーツ障害保険加入等はチームの責任において行ってください。
- ・事務局の判断で安全運営上、公式通知への追加、変更を行う場合があります。

2. 用具・服装

- ・チームフラッグは縦 50cm×横 70cm（規格厳守）の布製のものを作成し、縦部分上下にポールに結びつけるひもをつけてください。フラッグへの図柄、文字は各チームのオリジナルで自由に作成ください。フラッグを持参しないとき、規格外、不適切な内容のものは、大会本部で用意するフラッグを購入していただきます。（1枚 1,000円）
- ・靴は、靴底とつま先に金属等（野球試合用スパイク等）で相手や用具を傷つける恐れのあるものの装着を禁止します。
- ・競技中は、必ずヘルメットを正しく装着してください。（※怪我等は自己責任となります。）

3. 大会でのチームの動き

- ・受付は各チーム第一試合の雪玉製造 1 時間前までにお済ませください。
代表者 2 名でお願いします。

【緊急時事務局連絡先：090-6253-6748（事務局 伊藤）】

- ・受付から以下、配布貸し出しされます。
エントリー用紙、ファイル、プラカード（貸出備品に関しては大会後返却）
大会パンフレットは「サラダファームホームページ」より各チームダウンロードの上お持ちください

4. 雪球製造

- ・自チームの雪球製造時刻の 5 分前に雪球製造受付にて雪玉ケース 6 箱を受け取ってください。
- ・雪球製造時間は 20 分間です。
- ・雪球製造係の終了合図があったときは、必要個数を作れなくても終了となります。

- ・雪球ケース 1 箱に雪球 45 個を入れます。これを 6 箱製造ください。

5. 試合場

- ・プラカード、雪球ケース 6 箱、チームフラッグ、エントリー用紙を持って試合場に行きます。
 - ・試合場の審判にエントリー用紙を渡します。
 - ・) 雪球ケースを審判に指定された場所に置き、審判からチェックを受けます。
- 【特別規則】 6 箱の雪玉の合計が 270 個を超えた場合は、その超えた数の雪玉を廃棄します。
- 雪玉の固すぎるもの、形状を保てないもの、形状が大きすぎる/小さすぎる場合も廃棄します。
- ・前の試合が終了し、コートが空いたら選手はゼッケン、ヘルメットを速やかに装着してください。
 - ・チームフラッグを自陣のポールに取り付けてください。
 - ・チームプラカードを自軍の指定の場所に立てて、すぐ試合ができる状況にします。
 - ・フライングで再スタートになったときは、チーム雪球 (1 セット 90 個) の補充はありません。フライングをした選手はアウトとして扱い、そのセットはプレーできません。
 - ・中断があった場合、選手は、中断時に持っていた雪球をその場に置いてバックラインに戻り、自コート内にある雪球を 1 個以内で持つことができます。この状態から試合開始と同様の状態で、審判の指示により再開とします。
 - ・試合終了後に両チーム監督は記録用紙に署名してください。
 - ・雪球ケース 6 箱を空にして雪球製造受付にすみやかに返却をお願いします。

6. チーム

- ・試合場に入れるのは監督と競技者の 10 名だけです。応援団は入れません。
- ・リザーブの選手は試合中コートの記録席横の指定場所に控えてください。補欠選手及びアウト競技者は試合中、声やジェスチャーで競技者に指示する行為をしてはいけません。
- ・監督が選手を兼任するときは、**監督ゼッケン (10)** の上に競技者ゼッケンを装着してください。
- ・監督が選手を兼任していて、競技中にアウトになったときは、競技者ゼッケンを外し、監督ゼッケンが見える状態にすれば監督としてチームに指示が出せる状態になります。
- ・退場とは反則を犯した当該競技者または、監督が以後今大会に出場することができなくなります。また、チームは警告を受けます。
- ・警告とはチームが、競技中や大会会場地内で反則を犯したり、注意を受けてイエローカードを提示されたことをいいます。
- ・失格は 2 回目の警告と同時に発効します。レッドカードを提示されたときも同様です。チームは今大会への参加資格を失い、今大会から除外されます。
- ・監督が指示を出すときは審判の視界を遮ったり妨害をしてはいけません。監督の指示できる場所は主審の反対側自陣のサイドラインの長さまでです。

7. 規則の確認事項

- ・**審判への抗議は認められていません。**退場処分の対象となります。
- ・試合開始時にバックラインに整列した、一人の競技者は 2 個以内の雪玉しか持ってません。
- ・競技中、相手コート内にいることができるのはアウト競技者も含め 3 人です。4 人目が入った瞬間に負けとなります。
- ・アウトの判定を受けた競技者がフラッグを抜き取ったときは、その競技者がフラッグポールを戻すか、他の競技者が挿し直した後に再度引き抜かなければなりません。フラッグがコート外に出てしまった場合は、そ

のセットフラッグ奪取ができないこととなります。

- ・規定以外の雪球を投げた競技者はアウトとなります。
- ・選手の交代は、補欠/フォワード及びバックスの選手間でのみ交代ができます。交代できるタイミングは、セット間のみです。

【特別規則】相手方の身体接触等による邪魔がなければフラッグを奪取できたと審判員が判断すれば、それ以後の行動にかかわらず「認定フラッグ奪取」とします。

【特別規則】ラインアウトは完全にラインの外側（コート外）に足が出た場合及び体の一部がラインに触れたときとします。

【特別規則】試合開始時にはバックラインに片足または、両足を触れておかなければなりません。

【特別規則】試合中、理由の如何に問わず出血した場合はアウトとします。また、出血中は競技に出場できません。

8. 順位決定方法

- ・勝点の多いチーム（勝ち：勝点 3、引分け：勝点 1、負け：勝点 0）
- ・同点の場合は 1 警告の少ないチーム、2 取得セット率、3 ポイント率（総ポイント÷総セット数）で決定。
10 点：フラッグ奪取したチーム、相手を全員アウトにしたチーム、反則/没収/放棄試合で勝ちを宣言されたチーム、不戦勝となったチーム。
0 点：上記で負けを宣言されたチーム

一人 1 点：タイムアップでセットが終了したときは、残った競技者一人を 1 点としてそれぞれのチームのポイントとなります。

9. 会場地での注意事項

- ・大会の開催中、選手休憩場所はございません。各自車両等となります。
- ・会場地内の使用許可のない設備、電源は使用しないでください。
- ・会場地内での必要以上のスペースを占有しないでください。テントも禁止です。
- ・駐車場は係員の指示に従い、駐車のご協力をお願いします。当日は一般のお客様もご利用いただきます。
- ・ゴミ等は各チーム責任を持ってお持ち帰りください。
- ・指定の喫煙場所でのみ喫煙をお願いいたします。
- ・会場地内の事故、怪我、盗難等はそれぞれが責任を持ってください。主催者は一切責任を持ちません。
- ・会場敷地内は一般のお客様も利用される為、**キャッチボール等の行為は一切禁止**となります。

10. その他

- ・使用する用具、道具、貸与物は丁寧に扱ってください。故意に壊したり、紛失した場合はその賠償を求める場合があります。